

# Miyoshi City News Release



令和6年5月20日

## アメリカ合衆国による臨界前核実験への抗議文送付について

三次市は、アメリカ合衆国が令和6年5月14日に行った臨界前核実験に対して、別紙の抗議文をアメリカ合衆国および駐日アメリカ合衆国大使館に送付しました。

- 1 送付日 令和6年5月20日(月)
- 2 送付先 アメリカ合衆国  
ジョー・バイデン大統領 閣下  
  
駐日アメリカ合衆国大使館  
ラーム・エマニュエル大使 閣下
- 3 添付資料 抗議文



広島県三次市

地域共創部 共生社会推進課 共生社会推進係(担当:田村・渡部)  
TEL:0824-62-6242 FAX:0824-62-6235

アメリカ合衆国  
ジョー・バイデン大統領 閣下  
駐日アメリカ合衆国大使館  
ラーム・エマニュエル大使 閣下

## 抗 議 文

貴国が今月14日に、ネバダ州において臨界前核実験を実施したという報道に接しました。

昨年5月のG7広島サミットにおいて、貴国を含むG7各国首脳による「広島ビジョン」を発出し、核兵器のない世界の実現に向けた意思を示されました。それから1年を経ずして、今回貴国が行った核実験はこの意思に反するともいえる行為であり、強い憤りと悲しみを覚えます。

核実験は、いかなる理由があろうとも断じて許すことができません。核兵器廃絶を願う国際世論を無視し、人類史上最初の被爆地であるヒロシマの心を踏みにじるものであり、平和非核都市宣言を掲げる三次市民を代表して貴国の核実験に厳重に抗議します。

今後一切の核実験を中止するとともに、核兵器のない世界の実現に向け、全力を挙げて取り組まれるよう強く求めます。

令和6（2024）年5月20日

日本国広島県三次市長 福 岡 誠 志